

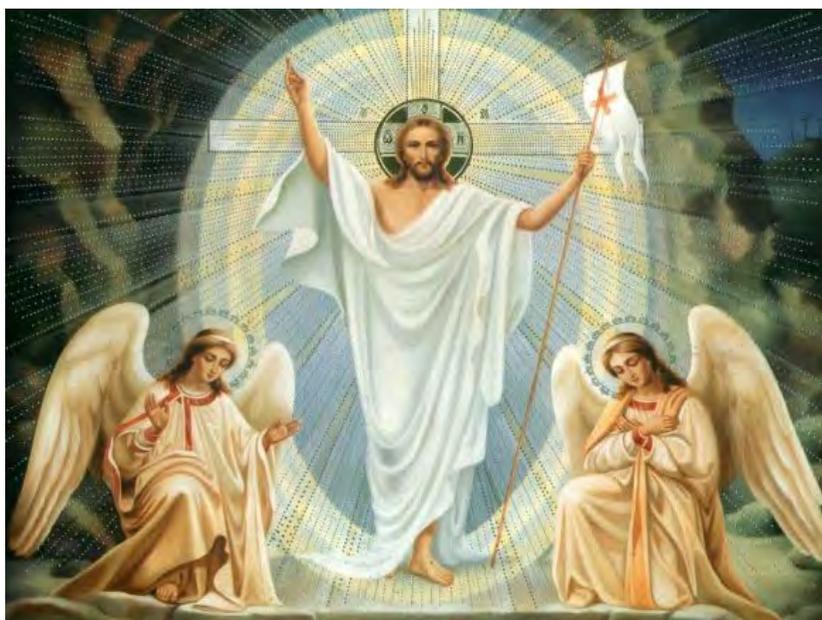


カトリック

三軒茶屋教会

おとずれ

2017年4月16日発行 第62巻 第3号



Happy Easter

「主のご復活おめでとうございます。」復活祭のお話しから

主任司祭 ヨセフ小西広志神父

今日の寒さで桜の花も散り始めるのでしょうか。

桜を見ていましたら、昔々、歌った合唱曲の一節を思い出しました。

「風が、桜の花びらを散らす春がそれだけ

よわまってくるひとひらひとひら舞い落ちるたびに」

『高田三郎』作曲、吉野弘作詞の合唱組曲「心の四季」の第一曲「風が」の歌い出しの部分です。散りゆく桜の花にわたしたちは時の移ろいを見いだします。しかし、それは無常観ではない。むなしさではない。むしろ、また来年も季節が移ろい来て、桜を見ることが出来ますようにというかすかな希望と、ほのかな祈りと願いがあります。

花筏というのでしょうか、小川の川面全体に桜の花びらが浮かんでいる。花筏はゆっくりゆっくりと流れていきます。どこに流れていくのでしょうか。それは知らない。ただ、散りゆく桜の花の移ろい、時の移ろい、それはゆっくりゆっくりとした移ろいなのですが、そのことを花筏はあらわしているかのようです。

時は移ろう、物事も移ろう、人も移ろう。だからといって寂しいわけではありません。むなしいわけではありません。なぜなら、この移ろいをつかさどる方がいらっしゃるからです。

父なる神は、イエスを死者の中から立ち上がらせてくださいました。死からのちへの移ろいを示す復活の出来事、それを少し難しい表現で主の過ぎ越しといますが、その出来事は、父なる神のいつくしみの御手の中に生かされているのだということをおわたしたちに教えてくれます。死からのちへ、闇から光へ、悲しみと苦しみから喜びへ、罪からゆるしへ、こだわりから自由へと父なる神は人を移ろわせてくださるのです。

いのち、光、喜び、ゆるし、自由、これらはすべて復活したイエスに出会った弟子たちが体験したものでした。弟子たちは過ぎ越しの主とともに、自分たちもいつの間にか、移ろい、過ぎ越していったのです。

イエス・キリストは死者の中から復活しました。この出来事に結ばれたわたしたちもまた、死からいのちへ、闇から光へ、苦しみから喜びへ、罪からゆるしへ、こだわりから自由へと移ろって行くのです。過越して行くのです。いえ、正確に言えば、移ろわせていただくのです。父と子と聖霊の三位の神によって。

冒頭お話ししました合唱曲の一番の歌詞は次の言葉で結ばれています。

「人は、見えない時間に吹かれている」

移ろいいくもののなかに、神の働きを見いだし、どんな状態になろうとも、神は必ず過越して、移ろわせてくださるのだという信仰を、今年の復活祭の恵みとしていただいてまいりましょう。



『四旬節黙想会（要点）』

信仰養成委員会

3月12日（日）四旬節第二主日、フランシスコ会の谷津良勝神父様のご指導の下、黙想会が行われました。テーマは、

I. 神を知る。神を愛する。神は何故、人を作られたのか。深い祈りの生活。只管打坐。

II. 聖母マリア、マリア様と生きる。

でした。第一講話は85名、第二講話は45名ほどが出席しました。

当日の講話の要点をご報告いたします。

ミサ説教

- イエスは一人一人の顔を見て、まず72人を選び、12人を選び、主の変容など大切な時に3人を選んで見せた。つらいこと、悲しいことを含めて、これまで経験したことが顔をつくっている。同じように、神は私たち一人一人を見て、こんな私を選び、ここに呼んできた。
- 一方で、イエスは「集まった」人を選ばなかった。神が私たちを呼び集めてくださったことに感謝。
- 御聖体は、私たちを死に至るまで愛してくださったキリストそのもの。こんなにすばらしいことはない。このことに対して、私たちは死ぬほどイエスを愛しているだろうか。深く考えてみましょう。

第一講話

- ここで話しするのも一期一会。何か一つでも心に残ったら、それを後で思い出してほしい。
- 何事も「libenter（リベンテレ）」＝「喜んで!!」。絶対できないと思ったことでも、できる。
- 私たちは神を見たことも会ったこともないが、神は見えなかったら存在しないのか。そうではない。私たちの信仰の土台となるのは、神の存在。
- 精巧に作られた時計を見るとき、私たちはそれを作った人は見えないが、確かに人の手で作られたことがわかる。同じように、この壮大な宇宙を創られた神は確かに存在し、私たち一人一人のことを知った上で、イエスが弟子たちを選んだのと同じように、こんな私を選び、ここに呼んでくださった。全知全能の神の知恵を思うとき、そのすばらしさははかり知れない。
- 祈るときには、まず神を神と認め、手を合わせて、私を選んでくださった神に心から感謝。神からいろいろな恵みをいただいたことに、私たちはどれだけ感謝しているだろうか。償いの祈りでは、神に素直に「ごめんなさい」。ほかに、黙想、念祷、観想、射祷など様々な形の祈りがある。全能の神は私たちのどんな痛みもわかってくくださる。

第二講話

- ルルドへの巡礼に同行した医師の話。小児麻痺の10歳の少女の祈り「私の病気は治らなくていいから、世界中の私のような病気を持った子の母を幸せにしてください」。その少女の病気は治った。自身がルルドでミサをささげた時にも、マリア様からふーと息がかかったように感じた。一緒にいた婦人も同様に感じ、病が癒された。現実にあったとても不思議な話。
- ある有名なシスターが死を目前にして「私は一生、何もしなかった」と言うようになった。歳をとって死が近づいたとき、神に見せる何があったのか。ロザリオの祈りを唱えるようにすすめると、そのシスターは、その後、毎日一心にロザリオの祈りをささげ、祈りのうちに亡くなった。
- 信仰生活を続けていくときに、いろいろなことを感じる。人間の弱さも。悪魔はかつて天使だったが、その傲慢さによって悪魔になってしまった。幼稚園児でも謙遜さは持っているが、謙遜になるのは難しい。
- 心がけていることとして、「おこるな」、「いばるな」、「あせるな」、「くさるな」、「まけるな（自分に）」。「頭文字をとって、「おいあくま」。頻繁にお祈りしても、自分の生活がちゃんとしていなければ、つい傲慢になってしまう。そのようなときに、思い出してほしい。



主任司祭湯澤民夫神父様・協力司祭内藤孝文神父様の転任挨拶



日曜学校・中高生会からの感謝の色紙を手渡し両神父様へ

去る、3月26日10時30分のミサ後4月1日付で札幌教区に転任される湯澤民夫神父様・内藤孝文神父様が離任の挨拶をされました。上記写真の通り、日曜学校・中高生会から今迄お世話になった感謝の言葉の色紙が手渡されました。2017年4月1日付湯澤民夫神父様は北海道札幌教区カトリック北十一条教会主任司祭として転任。内藤孝文神父様は北海道札幌教区カトリック札釧路教会主任司祭として転任されました。

< 転任先 >

湯澤民夫神父様：カトリック北十一条教会 TEL 011-711-2974
〒065-0011 北海道札幌市東区北十一条東2丁目2-25

内藤孝文神父様：カトリック釧路教会 TEL 0154-22-5823
〒985-0018 北海道釧路市黒金町12-10

4月9日(日)10時30分ミサ前の「枝の主日」風景



1階玄関ホールで「枝の主日」の行事



聖堂前で待機している、主任司祭ヨセフ小西広志神父と侍者の皆様



イエスの入城（ジョット画）

2017年3月度 教会委員会（議事録）

日時：2017年3月19日（日）12:30～14:10

出席：湯沢神父、教会委員（小野、鈴木三、小林、金原、茂木、鈴木子、金子）、典礼（安永芳）、信仰養成（洗川）、受付（津田、木村）、営繕（安永三）、広報（大坪）、財務（北村）

1. 2017年2月～2017年4月の行事（予定）

- | | |
|--------------|------------------------|
| ① 聖体奉仕者研修④ | 2月12日（日）13:30-@渋谷 |
| ② 信徒の集い | 2月19日（日）8:30/10:30 ミサ後 |
| ③ 灰の水曜日 | 3月1日（水） |
| ④ 四旬節黙想会 | 3月12日（日）フランシスコ会 谷津神父様 |
| ⑤ 日曜学校・受難劇 | 3月19日（日）8:30 ミサ後 |
| ⑥ 朗読奉仕者研修 | 3月19日（日）10:30 ミサ後 |
| ⑦ 大掃除 | 4月2日（日） |
| ⑧ 枝の主日 | 4月9日（日） |
| ⑨ ボーイスカウト上進式 | 4月9日（日）14:00- |
| ⑩ 聖週間 | 4月13日（木）～16（日） |

2. 今月までの活動と気付き・反省点等

- * 信徒の集い eメールによる連絡網には現在30名位が登録済み。
- * 黙想会 第1講話には100名位、第2講話には70～80名が参加。
- * 日曜学校・受難劇 観覧される方が昨年より約30名居た。
- * 朗読奉仕者研修会 50名位が参加。

3. 各委員会から

- * 典礼：朗読奉仕者研修で、湯沢神父様より朗読の心構え・所作のポイントは伝えられた。
聖週間のスケジュール・役割分担確認。
典礼研修会は10月1日に開催を予定している。
- * 信仰養成：「マカバイ記を読む」は終了した。
旧約聖書を読むシリーズは、神父様の異動等もあり休止する。
日曜学校の新入生は6名。初聖体は現時点で8名となっている。
- * 財務：特になし
- * 営繕：AEDの入替えは終了した。1度トレーニングをする必要があると思う。
ルルド周辺の樹木剪定を行う。
- * 広報：おとずれ次号は復活祭号となる。
- * 受付：コピー使用料について明確化してほしいとの要望あり。教会委員会にて、（1枚）：白黒5円 カラー10円とする。

4. その他

- * 司祭異動 主任司祭には小西神父様が4月から着任する。湯沢神父様、内藤神父様はともに札幌教区へ異動される。

次回教会委員会は4月9日（日）12:15～

次回活動G合同会議は4月23日（日）12:15～

以上

人のうごき

住所変更

2017年3月31日

リジューのテレジア 梶縄絵里子 ⑦ブロック 住所・電話番号変更

こよみ

4 月

- 4月16日(日) 復活の主日 10時30分のミ後イースター祝賀茶話会
- 4月17日(月) 聖ベネディクト・ラブル巡礼者
- 4月18日(火) 聖アポロニオ殉教者
- 4月21日(金) アンセルモ司教教会博士
- 4月23日(日) 復活節第2主日 (神のいつくしみの主日)
- 4月25日(火) 聖マルコ福音記者
- 4月29日(土) 聖カタリナ・シエナ・おとめ教会博士 (記)
- 4月30日(日) 復活節第3主日

5 月

- 5月 1日(月) 労働者聖ヨセフ
- 5月 3日(水) 聖フィリポ 聖ヤコブ使徒
- 5月 7日(日) 復活節第4主日・世界召命祈願の日
- 5月13日(土) ファチマの聖母
- 5月14日(日) 復活節第5主日
- 5月18日(木) 聖ヨハネ1世教皇殉教者
- 5月21日(日) 復活節第6主日・世界広報の日
- 5月28日(日) 主の昇天
- 5月31日(水) 聖母の訪問

6 月

- 6月 4日(日) 聖霊降臨主日

あ と が き

- ◇ 主の御復活おめでとうございます。
- ◇ 6年間三軒茶屋教会で、司牧されていた主任司祭湯澤民夫神父様・協力司祭内藤孝文神父様が4月1日付で北海道に転任されました。
- ◇ 新たに三軒茶屋教会・瀬田教会の主任司祭ヨセフ小西広志神父様が着任されました。今号の巻頭言は復活祭のお話を載せております。
- ◇ 3月12日(日)に谷津良勝神父様の四旬節黙想会の講話を、信仰養成委員会が纏めた記事を掲載しております。
- ◇ 次号「聖霊降臨号」(第62巻 第4号)は、6月4日発行です。



『おとずれ』第62巻 第3号 2017年(平成29年)4月16日発行
発 行 カトリック三軒茶屋教会
編集・印刷 カトリック三軒茶屋教会・広報委員会
主任司祭：ヨセフ小西広志神父
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-51-32
TEL 3421-1605 FAX 3421-9788
<http://home.f05.itscom.net/sancha/index.htm>
sancha-catholic0629@leaf.ocn.ne.jp

2017年

フランシスコ会の修道院で過ごす週末のひと時

静修の集い

週末を修道院でゆっくりと
祈りのうちに過ごしてみませんか。

内容 共同（個人）の祈り、分かち合い、面接（霊的指導）、他

日時：月一回、土曜日17：30～日曜日14：30

2017年の予定

1月14-15日	9月16-17日
2月11-12日	10月14-15日
3月 なし	11月11-12日
4月 8-9日	12月 9-10日
5月13-14日	〈2018年〉
6月10-11日	1月13-14日
7月15-16日	2月10-11日
8月 なし	3月 なし

対象：男性数人

費用：1500円

持ち物：祈りたい心、聖書、筆記用具、希望・・・

場所：聖アントニオ修道院（神学院・瀬田 教会敷地内）

東京都世田谷区瀬田4-16-1

地下鉄新玉川線：用賀／二子玉川から徒歩15分

東急田園都市線：二子玉川から徒歩15分

締切：※開催日一週間前



連絡先：retreat@ofm-j.or.jp **web サイト** http://www.ofm.jp

330-0045 さいたま市浦和区皇山町 18-1
イエズスの聖心修道院 古里慶史郎 神父
048-831-3268

158-0095 東京都世田谷区瀬田 4-16-1
聖アントニオ修道院 井之上強 神父
03-3700-0652